

新潟大学 教職大学院案内

大学院教育実践学研究科 教育実践開発専攻

協働的な実践力を
身につける

実践と省察を
積み重ねて成長する

マネジメント能力と
リーダーシップを
身につける

新潟大学教職大学院からのメッセージ

高度な専門性を必要とする「教師」という職業

今我が国は、少子高齢化の急激な進行により、2060年には生産年齢人口が半減するといわれています。またAIの発展は、目の前の子供たちが将来就く仕事のありようを大きく変えようとしています。教師は、そのような予測することすら難しい時代に生きることになる子供たちに、豊かに生き抜くことのできる力を付けさせなくてはなりません。それには高度の専門性が求められます。つまり、教員養成は、「あるべき知識を伝授する」ととどまらず、「未来に生きる力を養う」という創造的な仕事に携わる高度専門職業人を育成するという重大な責務を負っていることになります。

この責務を果たすべく、新潟大学教職大学院では、「現場に身を置き、生の子どもの姿をつぶさにとらえ、年齢や立場や役割を異にする者どうしの熱いディスカッションを通して、一人では決して到達し得ない幅広い知見と視野とを獲得すること」を授業の基本理念としています。すなわち、「同僚性と協働性をもって教育課題を解決することのできる実践知の創造」を重視しています。

院生一人一人が、2年間の学びを通して同僚性・協働性を身に付け、これからの学校づくりのリーダーに育ってこれることを期待し、教職大学院専任教員一同一丸となって取り組んで参ります。あなたも、ぜひ教職大学院で高度専門職業人に必要な知識・技能を身に付け、「新潟の未来」に貢献できる教師を目指しませんか。

育成する3つの力

学ぶ意欲を高める授業実践、児童生徒一人一人に向き合う児童生徒指導、いじめ・不登校・非行への対応、一人一人を大切に
する道徳・人権教育、郷土愛を軸としたキャリア教育などを、
より強力に推進する資質能力の育成を目指します。

学校と家庭・地域との連携、
学校における危機管理、グ
ローバル化に対応した教育
の構築などを推進する資質
能力の育成を目指します。

高度な
教育実践力
の育成

特別な支援を要する児童生徒
個々の教育的ニーズの多様化
の中で、各学校での特別支援
教育を円滑に推進し得る専門
的力量的育成を目指します。

学校改革
を推進する実行力
の育成

特別支援
教育の
専門性の育成

3つの力

コースごとの養成する教師像

教育実践
コース

教員を目指す者（学部新卒院生等）

学校現場が抱える様々な課題に対する知見をもち、教職員との協働により、一人一人の子どもの実態に沿ったきめ細かな学習支援や生活支援を行う能力を備えた新人教員。

現職教員院生

学校現場が直面する課題を解決・克服するための教育実践を、教職員との協働により、構想・実施・検証する高度の実践力を備えた教員。

学校経営
コース

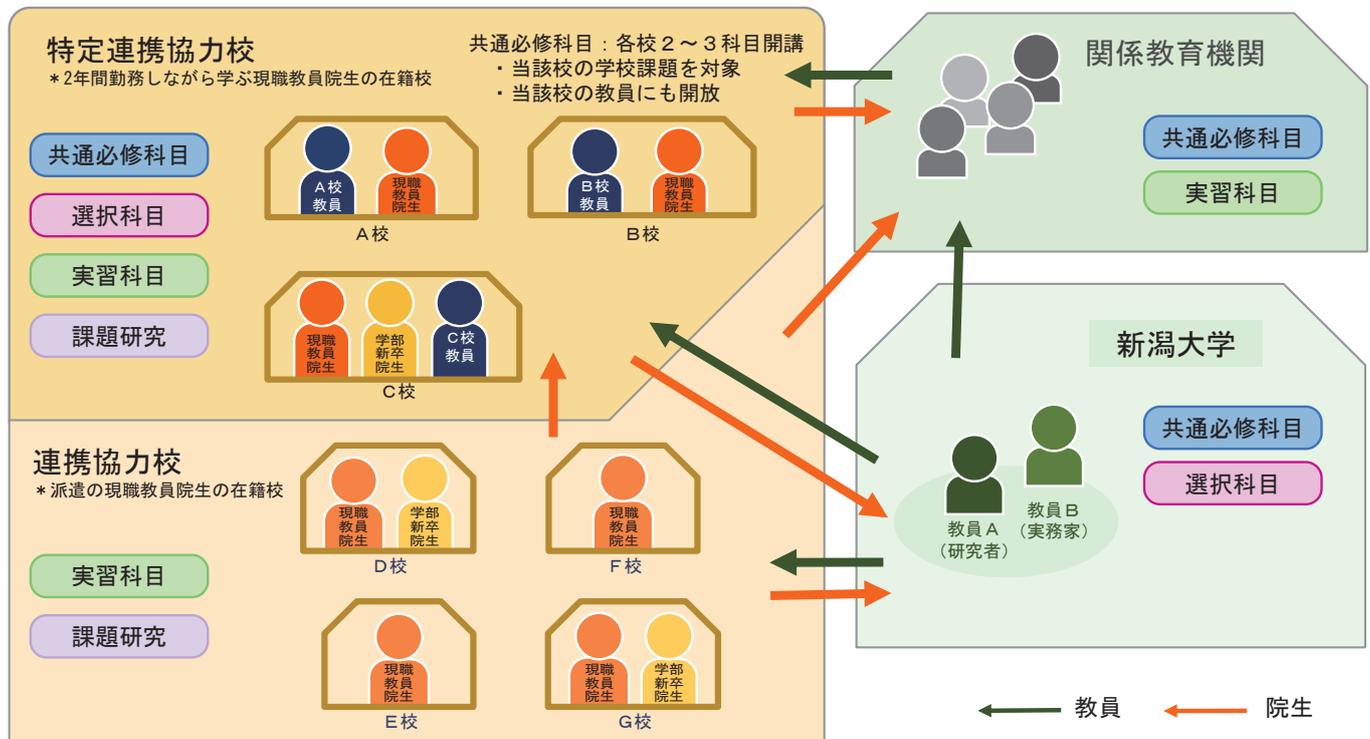
現職教員院生

学校経営に関する総合的かつ高度な知見をもち、自校の課題を的確に把握し、教職員及び地域社会との協働により、組織的に解決するマネジメント能力とリーダーシップを兼ね備えた教員。

分野
・教育実践分野
・教科教育高度化分野
・特別支援教育分野

特定連携協力校を 中核とした学び

「2年間勤務しながら学ぶ教職大学院」を実現するために、現職教員院生の勤務校を「特定連携協力校」とし、当該校において必修科目を実施し、履修可能なシステムを作りました。



感染防止対策のため、一部リモートで行っている部分があります

● 特定連携協力校について

- ・ 2年間勤務しながら学ぶ現職教員院生の勤務校を充当します。
- ・ 研究者教員と実務家教員が当該校に赴き、共通必修科目を実施します。

● 授業の様子

共通必修科目



フィールドワーク
「特色ある教育課程の事例研究」



現場で実践しながら学ぶ
「授業研究の理論と実践」

課題研究



海外大学院生との
オンライン交流



教員とともに話し合い
考えを広げる

実習科目



勤務校で実習する現職院生



実習する学部新卒院生

選択科目



ICTを利用した教育実践について学ぶ
「概念変化と学習過程」

カリキュラム編成および特色

共通必修科目 (20単位以上)

| | 領域 | 授業科目の名称 | 単位数 |
|---|--------------------|--------------------|-----|
| 1 | 教育課程の編成・実施に関する領域 | 教育課程編成の理論と実践 | 2 |
| | | 特色ある教育課程の事例研究 | 2 |
| 2 | 教科等の実践的な指導方法に関する領域 | 学習デザインの理論と実践 | 2 |
| | | 授業研究の理論と実践 | 2 |
| 3 | 生徒指導・教育相談に関する領域 | 生徒指導の課題と実践 | 2 |
| | | 発達理解の理論と実践 | 2 |
| 4 | 学校経営・学級経営に関する領域 | 地域教育経営の理論と実践 | 2 |
| | | 学級経営の理論と実践 | 2 |
| 5 | 学校教育と教員の在り方に関する領域 | 地域の教育課題と学校・教師 | 2 |
| | | 社会のグローバル化と学校・教師の課題 | 2 |
| 6 | 特別支援教育に関する領域 | 特別支援教育の実践Ⅰ | 2 |
| | | 特別支援教育の実践Ⅱ | 2 |

実習科目 (10単位以上)

| コース | 授業科目名 | 単位数 |
|-------------------------------|--------------------------|-----|
| 教育実践コース (教育実践分野・教科教育高度化分野) | 教育実践基礎実習 (学部新卒院生) | 2 |
| | 教育実践課題発見実習 (学部新卒院生) | 2 |
| | 教育実践課題分析実習 (現職教員院生) | |
| | 教育実践課題検証実習 | 4 |
| | 教育実践課題達成実習 | 4 |
| 教育実践コース (特別支援教育分野) | 教育実践基礎実習 (学部新卒院生) | 2 |
| | 特別支援教育課題発見実習 (学部新卒院生) | 2 |
| | 特別支援教育課題分析実習 (現職教員院生) | |
| | 特別支援教育課題検証実習 | 4 |
| | 特別支援教育課題達成実習 | 4 |
| 学校経営コース | 学校経営課題分析実習 | 2 |
| | 学校経営シャドウイング実習 | 4 |
| | 学校経営課題達成実習 | 4 |

選択科目 (16単位以上)

| 科目群 | 授業科目の名称 | 単位数 |
|--------|---------------------------|-----|
| 教育実践 | 授業における学習研究 | 2 |
| | 概念変化と学習過程 | 2 |
| | 問題解決的な学習と評価 | 2 |
| | 教育相談事例研究Ⅰ | 2 |
| | 教育相談事例研究Ⅱ | 2 |
| | キャリア教育の理論と実践 | 2 |
| 教科教育実践 | 授業改善と学習評価 A (人文・社会系)Ⅰ | 2 |
| | 授業改善と学習評価 A (人文・社会系)Ⅱ | 2 |
| | 授業改善と学習評価 B (数理系)Ⅰ | 2 |
| | 授業改善と学習評価 B (数理系)Ⅱ | 2 |
| | 授業改善と学習評価 C (芸術・体育系)Ⅰ | 2 |
| | 授業改善と学習評価 C (芸術・体育系)Ⅱ | 2 |
| 特別支援教育 | 特別支援教育の事例研究Ⅰ | 2 |
| | 特別支援教育の事例研究Ⅱ | 2 |
| | 特別支援教育における教科指導の理論と実践 | 2 |
| | 特別支援教育コーディネーターの理論と実践 | 2 |
| | 行動障害・情緒障害児童生徒のアセスメント理論と実践 | 2 |
| | 障害児童生徒の生理・病理の理論と実践 | 2 |

| | | |
|-------------------------------|-------------------------|---|
| 学校経営 | 学校安全計画と地域防災 | 2 |
| | 学校のリスクマネジメントと法規範 | 2 |
| | 学校評価の開発実践 | 2 |
| | 生涯学習計画立案における学習支援者の実践的課題 | 2 |
| | グローバル教育実践演習 | 2 |
| 教育実践探究 | 課題研究Ⅰ | 2 |
| | 課題研究Ⅱ | 2 |
| | 課題研究Ⅲ | 2 |
| | 課題研究Ⅳ (修了報告書・発表を含む) | 2 |
| | 特別支援教育の課題研究Ⅰ | 2 |
| | 特別支援教育の課題研究Ⅱ | 2 |
| | 特別支援教育の課題研究Ⅲ | 2 |
| 特別支援教育の課題研究Ⅳ (修了報告書・発表を含む) | 2 | |

【修了要件】

本専攻に2年以上在籍し、所定の46単位以上を修得すること。

【履修方法】

【共通必修科目】

第1領域から第5領域までは各2単位以上、計16単位以上を選択、かつ第6領域は4単位を必修とし、合計20単位以上を修得すること。

【選択科目】

「教育実践探究」に関する科目群は4科目8単位を必修とし、かつ各コース・分野の選択科目については以下のとおりとし、合計16単位以上を修得すること。

【教育実践コース】

教育実践分野：「教育実践」に関する科目群から3科目6単位以上、かつ「教育実践探究」に関する科目群を除くいずれかの科目群から1科目2単位以上、計8単位以上を選択。

教科教育高度化分野：「教科教育実践」に関する科目群のうち、主として専攻する教科系列の2科目4単位以上、かつ「教育実践探究」に関する科目群を除くいずれかの科目群から2科目4単位以上、計8単位以上を選択。

特別支援教育分野：「特別支援教育」に関する科目群から3科目6単位以上、かつ「教育実践探究」に関する科目群を除く科目群から1科目2単位以上、計8単位以上を選択。

【学校経営コース】

「学校経営」に関する科目群から3科目6単位以上、かつ「教育実践探究」に関する科目群を除くいずれかの科目群から1科目2単位以上、計8単位以上を選択。

【実習科目】

教育実践コースにおいては、「課題発見実習」又は「課題分析実習」(2単位)、「課題検証実習」(4単位)、「課題達成実習」(4単位)の合計10単位を修得すること。なお学部新卒院生は「基礎実習」も合わせて履修し12単位を履修することが望ましい。学校経営コースにおいては、「課題分析実習」(2単位)、「シャドウイング実習」(4単位)、「課題達成実習」(4単位)の合計10単位を修得すること。

【登録の上限】

20単位(半期)、40単位(年間)

総合大学の強みを活かす

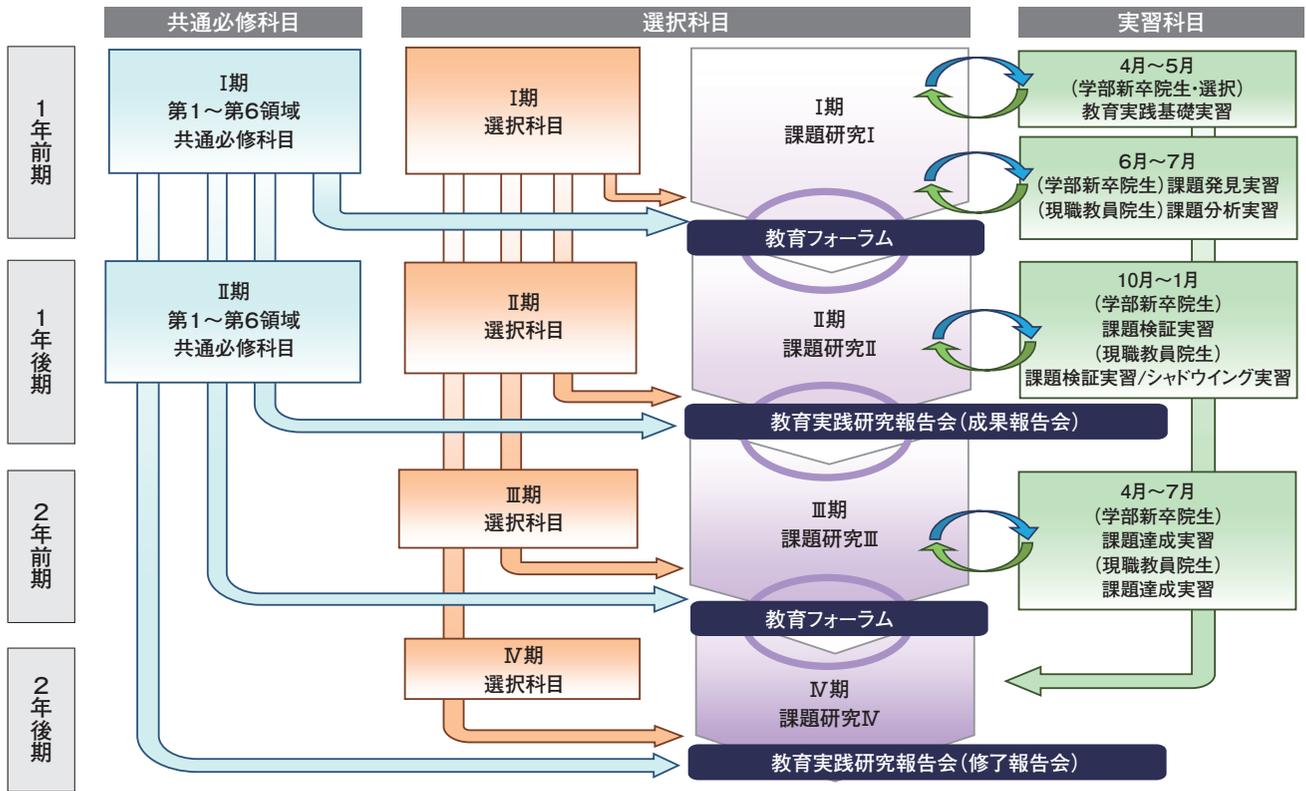
学内の他学部をはじめ、附属学校、新潟県および新潟市教育委員会、連携協力校、各種関係機関(教育センター、相談センター、特別支援教育サポートセンター、地域生涯学習施設等)と連携した取り組み、カリキュラム開発を行っています。

チームによる指導体制

すべての科目を、教育分野の研究者である「研究者教員」と、教職経験を有し理論と実践をつなぐ「実務家教員」とで実施します。

省察をコアにして 学びを深める履修システム

2年にわたる実習とその省察を行う課題研究を中心に、様々な科目における学びを結びつけながら理論と実践を往還しつつ、学びを深めていくことを支援するシステムを実現しました。



フォーラム

ワークショップ

専任教員が有する教育研究のリソースを学校現場の先生方に提供いたします。

◆ワークショップテーマ一覧 (R.2年度例)

- | | |
|---|--|
| 1 | 学校経営の良薬探し ～一連の新型コロナウイルス感染拡大防止対策対応を通して学んでいること～ |
| 2 | これからの学級づくり ～3密を避けた構成的グループエンカウンターを手段として～ |
| 3 | 新たなコミュニケーション環境の中で問題解決力をどう育てるか |
| 4 | 日常と非日常をつなぐ家庭科授業を考える |
| 5 | 音楽科教育の展望 ～コロナ禍における附属学校の取り組みを通して～ |
| 6 | アフターコロナの特別支援教育は… |
| 7 | 小学校体育授業における学習評価について ～学習カードの活用事例をもとにコロナ後を考える～ |
| 8 | ウイズ・コロナ時代の小学校外国語 |
| 9 | 提案！新しい道徳のカタチ |

ラウンドテーブル

テーマに基づいて、実践やその悩みを共有しながら、参加者と語り合います。



成果・修了報告

院生が自身の探究する課題に基づいて発表し、参加者と議論します。



■取得できる学位；教職修士（専門職）

■取得できる教員免許状；

- ・幼稚園教諭専修免許状
- ・小学校教諭専修免許状
- ・中学校教諭専修免許状

(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語)

- ・高等学校教諭専修免許状

(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語)

- ・特別支援学校教諭専修免許状

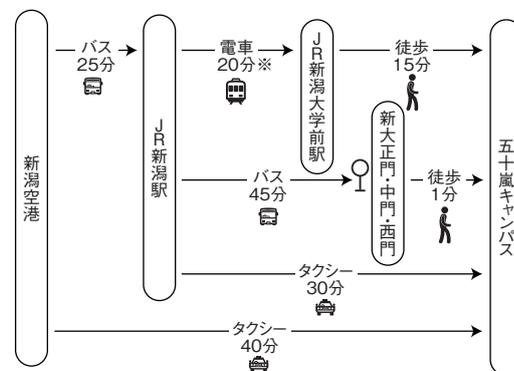
- ・養護教諭専修免許状

- ・栄養教諭専修免許状

※専修免許状の種類に対応する一種免許状を有していることが必要となります。また校種によっては、修了要件以外の履修が必要となります。

交通アクセス

新潟大学 五十嵐キャンパス



※五十嵐キャンパス西側の工学部方面へは、内野駅の方が近くなります。

●電車をご利用の場合

越後線「新潟大学前駅」下車後、徒歩約15分

●バスをご利用の場合

新潟駅万代口バスターミナルのりば
西小針線（「新大西門」行 または「内野営業所」行）乗車→「新大正門」
または「新大中門」、「新大西門」（約45分）下車後、徒歩約1分